

令和8年度 国語科 第3学年 年間指導評価計画

作成者 遠山 理世子、秋田 恵美子

観点: I (知識・技能) II (思考・判断・表現) III (主体的に学習に取り組む態度)

月	単元	学習内容	教材名	時数	観点			評価規準
					I	II	III	
4	一	詩	世界は美しいと	1	○	○	○	語句の意味や詩の構成に注意して、詩を読み深めることができる。
4		小説	握手	4	○	○	○	抽象的な概念を表す言葉などを用いて、人物像を表すことができる。
4		話す聞く	意見を聞き、適切さを判断する	1	○	○	○	意見を聞き、適切さを判断することができる。
4		文法	文法への扉1	1	○		○	文法の知識を表現・推敲に生かすことができる。
5		話す聞く	説得力のある構成を考えよう	1	○	○	○	聞き手を説得できるように話の構成を考え、表現を工夫することができる。
5		言葉	相手や場に応じた言葉遣い	1	○		○	相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切に選ぶことができる。
5		漢文	学んで時に之を習ふ	2	○	○	○	歴史的背景などに注意して読み、自分の意見をもつことができる。
5	書写	硬筆	全国文字マップ	2	○		○	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。
5	二	論説	作られた「物語」を超えて	3	○	○	○	論理の展開における、具体と抽象の関係を捉えることができる。
6		話す聞く	具体化・抽象化	3	○	○	○	具体と抽象の関係に注意して、文章を読んだり書いたりすることができる。
6		書く	論理の展開を意識して書こう	4	○	○	○	論理の展開を考え、文章の構成を工夫することができる。
6		漢字	熟語の読み方	1	○		○	音と訓の組み合わせに着目し、熟語の読み方について理解を深めることができる。
6	三	俳句	俳句の可能性・俳句を味わう	4	○	○	○	俳句のきまりや表現を理解し、解釈と鑑賞を行うことができる。
6		随筆	言葉の釣り糸を垂らす	2	○	○	○	感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げることができる。
7		言葉	和語・漢語・外来語	1	○		○	和語・漢語・外来語の特徴を理解し、適切に使っている。
7	情報	情報	実用的な文章を読もう	3	○		○	目的に応じて、必要な情報を漏れなく探し出し、正確に読み取ることができる。
7	読書	読書	読書を楽しむ	1	○		○	読書の楽しさや意義を発見することができる。
7		言葉	「私の一冊」を探しにいこう	1	○		○	さまざまな本の探し方を知り、興味をもってそんな本を探すことができる。
7	書写	毛筆	文字の使い分け	2	○		○	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。
7	書写	毛筆	三年間のまとめ	2	○		○	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。
9	四	詩	挨拶	2	○	○	○	語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考えることができる。
9		小説	故郷	5	○	○	○	登場人物の行動を批判的に読み、作品の批評をすることができる。
9		書く	推敲 論理の展開を考える	2	○	○	○	目的や読み手に応じて、表現や論理の観点から、意見文を推敲することができる。
9		言葉	慣用句・ことわざ・故事成語	1	○		○	言葉について理解を深め、意味を調べたり、短文を作ることができる。
9		話す聞く	聞き上手になろう	1	○	○	○	対談を行い、質問の仕方を工夫して、相手の思いを聞くことができる。
9		漢字	漢字の造語力	1	○		○	学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。
10	書写	硬筆	自分らしい文字	1	○		○	手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解している。
10	五	論説	複数の意見を読んで、考えよう	3	○	○	○	文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。
10		書く	考えを効果的に伝えよう	5	○	○	○	批評文について知り、客観的に分析したうえで文章を書くことができる
10		文法	文法への扉2	1	○		○	単語の類別について理解するとともに、文の成分の順序や照応等について理解している。
10		詩	初恋	4	○	○	○	言葉の響きやリズムを味わいながら、描かれた情景や心情についてまとめることができる。
11	六	古文	古今和歌集仮名序	1	○	○	○	三つの歌集の特徴や歴史的背景、和歌に対する古人の思いを捉えている
11		古文	君待つと一万葉・古今・新古今	2	○	○	○	和歌に詠まれた情景や心情を読み取り、表現のしかたを評価することができる。
11		古文	夏草一「おくの細道」から	4	○	○	○	歴史的背景に注意して作品を読み、作者が何に感動したのかを理解している。
11	七	評論	それでも、言葉を	4	○	○	○	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている
12		漢字	漢字のまとめ	2	○		○	学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。
12		話す聞く	話し合いを効果的にまとめよう	3	○	○	○	合意形成に向けた話し合いを効果的に進行するための工夫について考えている。
12		話す聞く	合意形成に向けて話し合おう	4	○	○	○	意形成に向けて納得できる結論を出すために話し合っている。
12	書写	毛筆	書き初め	3	○		○	楷書または行書の特徴や配列を理解して書くことができる。
12	読書		本は世界への扉	1	○	○	○	読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、語り合ったりしている。
1	八	随筆	温かいスープほか	5	○	○	○	これまでの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
1		小説	わたしを束ねないで	1	○	○	○	作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2		総合	三年間の歩みを振り返ろう	4	○	○	○	記事の内容を効果的に伝えるために、紙面と文章の構成を工夫している。
2		総合	国語の力試し	3	○	○	○	今まで学習を生かして、それぞれの学習活動に生かすことができている。
2		詩		初日	2	○	○	○

時数 計 105